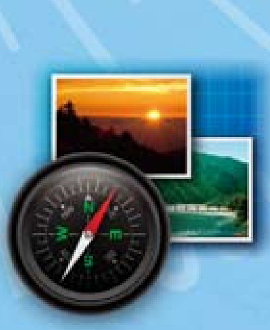
PIXELA CORPORATION

Photo Place GPS



取扱説明書



準拠規格・商標

規格

- VCCI

  この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。本取扱説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

- RoHS

  本製品は、欧州連合 (EU) の有害物質の使用制限についての基準である、RoHS (Restriction of the use of Certain Hazardous Substances) 指令対応製品です。

商標

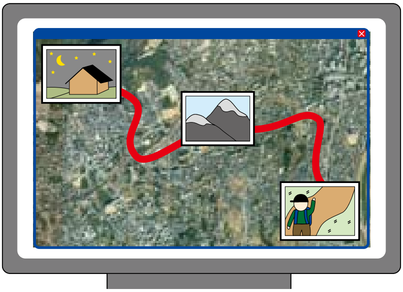
- microSD™ は SD Card Association の商標です。
- Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。
- Google Earth™ 地図サービスは、Google Inc. が提供するサービスです。
- Google Earth™ は Google Inc. の商標です。

本書について

- 本書は本製品の使い方、取り扱い上の注意を説明した取扱説明書です。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書で使用している画像や画面は製品開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。また、本書で使用している画像は、はめ込み合成の場合があります。
- 本書にはWindowsの基本的な操作については記載しておりません。メニューの選択やウィンドウ操作などは基本的にWindows の一般的な操作手順に準拠しております。
- 本書の説明には、Windows XP の画面を使用しています。Windows Vista、Windows 7 をご使用の場合、画面の表示が一部異なる場合があります。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略させていただいております。

本製品でできること

本製品は、電源を入れて本体を持ち歩くだけで、位置情報を記録できます。その後、本体をパソコンと接続して、対応している地図ソフト上で経路とデジタル写真を表示させることができます。



目次

はじめに

GPSユニット(本体)の各部名称

準備する

位置情報を記録する

位置情報をパソコンで利用する

操作画面について

仕様

困ったときは

はじめに

本製品を正しくご使用になるために必ずこの取扱説明書（本書）をご覧ください。

また､本製品は安全に十分に配慮して設計されていますが､間違った使い方をすると、火災や感電により人身事故を引き起こす可能性があり、大変危険です。事故の発生を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る

  本書に記載の「安全上の注意・警告」をよくお読みください。本製品全般の注意事項が記載されています。この注意事項を守り、正しくご使用ください。

- 定期的に点検をする

  本製品接続時、また使用を始めてからも定期的に、本製品の端子部分にほこりがつまっていないかなどを点検してください。

- 故障したら使用しない

  正しく動作しなくなった場合や、破損していることに気付いたら、すぐに使用を中止してください。

注意事項

- 磁気を発生するものからは遠ざけてください。
- 持ち運びの際は、ズボンやスカートの後ろのポケットに入れて座らないようにしてください。破損、故障の原因になります。
- 測位中は GPS ユニットを外に向け、できるかぎり上向きになるように装着してください。
- 測位中は GPS ユニットのアンテナ部を下に向けたり、かばんやポケット、体などでさえぎらないようにしてください。
- 測位中に電池を交換しないでください。測位ができなくなります。
- 測位中に microSD カードを交換しないでください。測位ができなくなります。
- 電池の不必要な消耗を防ぐため、利用しないときはその都度電源を切ってください。また、保管する際は、電池を抜いて保管してください。
- 電源を入れた時は GPS ユニットのアンテナ部分を上部に向け測位中になるまでお待ちください。
- GPS ユニットに付着した汚れや水滴は長時間放置すると取れなくなる恐れがあります。
- 低温度時は性能が低下するので、GPS ユニットや電池を冷やさないようにしてください。
- 測位情報とカメラで撮影した画像データの同期については、付属ソフトウェアを使用して行います。そのため、カメラの日時情報は時間、分まで設定してください。
- Google Earth を使用するにはインターネットに接続できる環境が必要です。プロバイダ料金、通信費は本製品に含まれておりません。

制限事項

- 本製品をインストールまたは、アンインストールを行うときは、管理者権限のあるユーザーで行ってください。
- 屋内での位置情報測位はできない場合があります。
- 製品の動作は日本国内でのご使用のみ保証しております。海外でのご使用は保証しておりません。
- GPSユニットを金属製品で覆うと位置情報を測位できません。

安全上の注意・警告

本書では、安全にご使用いただくために次のような表示、記号で表しています。人や財産への危害、損害の発生を防ぐために表示の内容をよく理解し、本製品をお使いください。

警告	この表示は「火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は「感電やその他の事故により、けがや家財に損害を与える可能性が想定される」内容です。

	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号

異常や故障のとき

警告

!	以下の場合は、すぐに電源を切って、本製品の使用を中止してください。 ・故障している ・異音、異臭、煙が出ている ・内部に水や異物が入った・破損して内部がむき出しになっている そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。修理は弊社までご相談ください。

使用するとき

警告

🚫	本製品の分解や改造、修理などは絶対にしないでください。火災や感電、故障の原因になります。修理は弊社までご相談ください。分解などを行った場合は製品保証の対象外となります。
🚫	本製品の破損原因となる、下記の行為はしないでください。 本製品を傷つける、落とす、強い衝撃を与える、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、束ねるなど。傷んだまま使用すると、感電・火災の原因になります。修理は弊社までご相談ください。
🚫	本製品の近くに液体容器や金属類を置かないでください。液体や金属類が本製品の内部に入ると、火災、感電、故障の原因になります。

次ページへ

🚫	本製品を水につけたり、濡れた手で本製品に触れないでください。感電や故障の原因になります。
🚫	本製品の内部に金属類や燃えやすいものを入れないでください。火災や感電、故障の原因になります。
🚫	本製品の内部に指を入れないでください。 けがや感電、故障の原因になります。
🚫	振動や衝撃のある場所、傾斜しているなど、不安定な場所に本製品を置かないでください。また、そのような場所で本製品を使用しないでください。 倒れたり、落ちたりして、けがや破損の原因になります。強い衝撃を受け、故障、破損した場合は、製品保証対象外となります。
🚫	屋外で雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しないでください。感電の原因になります。
🚫	プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所、および引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。爆発や火災の原因になります。

注意

🚫	直射日光の当たる場所や極端に温度が高くなる場所、または極端に温度の低い場所では使用しないでください。 火災や故障の原因になります。
🚫	湿気、油気、埃の多い場所や加湿器のある場所では使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
🚫	本製品の上に物をのせたり、布類で覆う、包む、通風孔をふさぐなど、風通しの悪い状態で使用しないでください。内部温度が上昇し、火災や故障の原因になります。
🚫	本製品の上に重いものをのせたり、本製品の上に乗らないでください。火災や感電、故障の原因になります。

🚫	輸送、開梱、廃棄時には、パッケージの取り扱いに気をつけてください。パッケージの端で手などを切り、けがの原因になることがあります。
❗	本製品は小さなお子様の手が届かない場所に設置してください。けがの原因になることがあります。
❗	砂埃などがある海辺、砂地では砂埃がかからないようにしてください。故障の原因になります。

電池について

警告

🚫	電池が液漏れしているときは、素手で触らないでください。 また、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。 皮膚の炎症や失明の原因になる恐れがあります。

注意

🚫	指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を併用しないでください。 破裂したり、液が漏れたりして、火災、けが、汚損の原因になることがあります。また、指定外の電池および新旧の電池を併用した場合、製品保証対象外となります。
❗	電池の＋と－の向きに注意してください。 向きが正しくない場合、破裂したり、液が漏れたりして、火災、けが、汚損の原因になることがあります。電池の向きが正しくないまま使用した場合、製品保証対象外となります。

GPSとは

GPS（Global Positioning System）とは、米国によって軍事用に開発された衛星を使った位置決定システムですが、民間にも開放され、近年では航空機・船舶等の航法支援、現在ではカーナビゲーション用として広く利用されています。

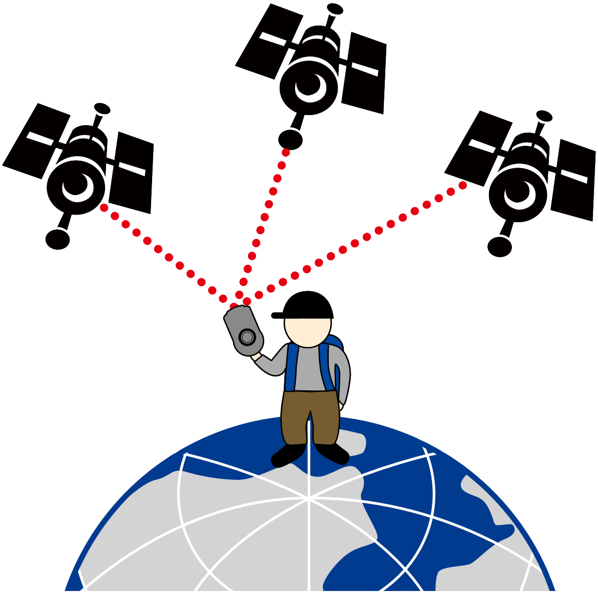
測量に利用する場合には、測点間の視認が不要である上、長距離の測量においても測定精度が高く、天候に影響されにくいなどの利点があります。

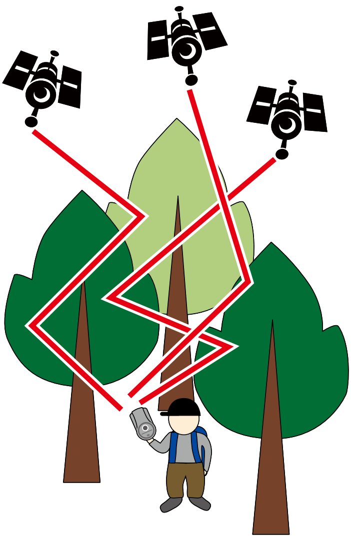
このシステムは、地上約2万kmを周回する24個のGPS衛星、GPS衛星の追跡と管制を行う管制局、測位を行うための利用者の受信機で構成されており、GPS衛星は6軌道面に4個ずつ配置されています。

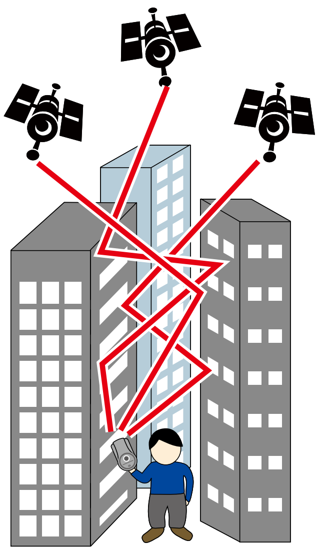
利用者は、GPS受信機が3個以上のGPS衛星からの距離を同時測定することで自分の位置を決定（測位）できます。GPS衛星からの距離は、GPS衛星から発信された電波が受信機に到達するまでに要した時間から算出されます。

測位する場所について

木やビルなどの背の高い障害物があるところは電波が反発し、正しく測位できない場合があります。できるだけオープンスカイ（衛星と受信機の間に障害物のない状態）で利用するようにしてください。







GPSユニット(本体)の各部名称

前面図

本体の前面です。



アンテナ	GPS 衛星からの電波を受信します。
[ON] ボタン	位置情報の測位を開始・終了します。
測位表示ランプ（緑）	測位の状態をランプのパターンで表示します。 測位準備中：約 2 秒間隔で 2 回点滅 測位中：約 2 秒間隔で 1 回点滅
[BATT] 電池残量ランプ（赤）	電池残量が 30%以下になると、点滅します。測位中の場合は、一度測位を終了して、電池を交換するとランプは消灯します。

自動 / 手動 切り換えスイッチ	測位の方法を切り換えます。 自動 (AUTO)：連続して測位する 手動 (MAN)　：任意の場所で測位する ※経路を測位する場合は [AUTO] にしておきます。
[MEM] メモリ残量ランプ (オレンジ)	メモリがいっぱいで、これ以上位置情報を記録できない場合に点灯します。パソコンに取り込むなどして、データが削除されると、ランプは消灯します。 ※パソコンと接続中、または microSD カードが挿入されていない場合も点滅します。

背面図

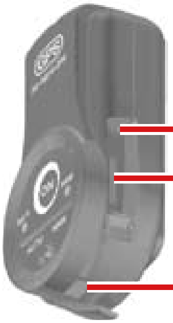
本体の背面です。



電池・電池カバー	単４アルカリ乾電池２本を入れてください。≫ P.18

側面図

本体の右側面、下側面です。



リセットスイッチ	microSD カード 内のデータをすべて削除できます。 ※いずれかのランプが点灯・点滅しているときに、ボールペンなどの先で中のスイッチを長押しすると、データが削除されます。
microSD 挿入口	測位したデータを保存するメモリカード（microSD カード）が挿入されています。
USB ケーブル差込口	パソコンと接続する際、付属の USB ケーブルを差し込みます。

準備する

ストラップを取り付ける

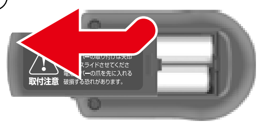
ストラップは図の位置に
取り付けます。



電池を入れる

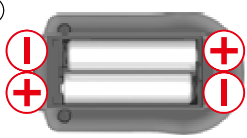
1. 本体背面の電池カバーを開きます。
2. 電池のプラスとマイナスの向きに注意して電池を入れます。
3. 電池カバーをスライドさせて閉じます。

①



※凸部分を押しながら矢印の
方向にスライドさせて開きます。

②



③



電源を入／切をする

[ON] ボタンを長押しします。

➡ 電源を入／切できます。

※約 2 秒間ボタンを押し続けます。



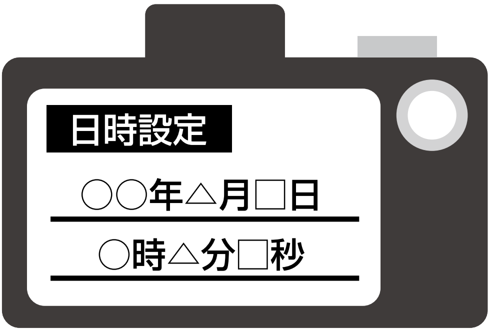
電源を入れる	[BATT] ランプが赤く点灯した後、測位表示ランプが点滅します。
電源を切る	[BATT] ランプが赤く点灯した後、すべてのランプが消えます。

位置情報を記録する

記録を開始する前に

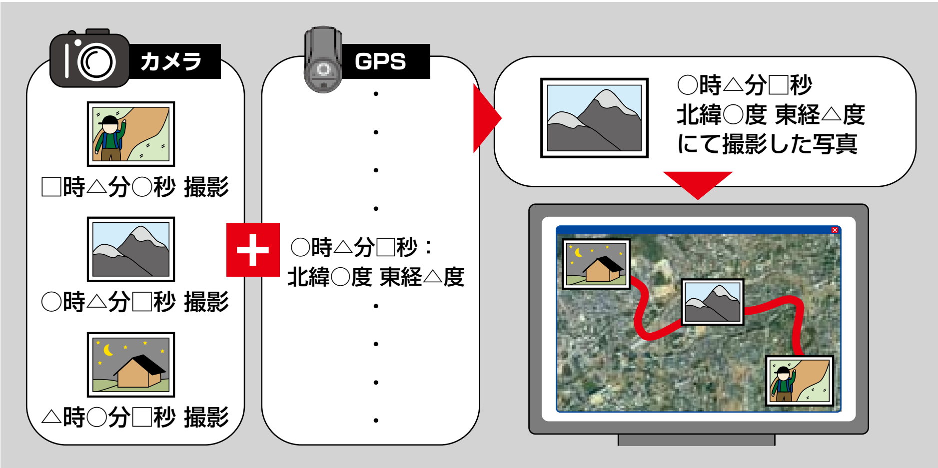
写真を撮影する前に、お持ちのカメラの日時が正しく設定されているかご確認ください。

お手持ちのカメラの日時の設定方法については、カメラの取扱説明書をご参照ください。



どうしてカメラの日時設定が必要？

本体で取得した位置情報を、撮影した写真に付加するために日時情報を利用します。そのため、カメラの日時が正しく設定されていないと、誤った位置情報が写真に付加されたり、位置情報が付加できない場合があります。



位置情報を取得する

本体は [AUTO] モードと、[MAN] モードの 2 種類の使い方があります。

- 経路と写真の位置情報を同時に取得する場合は、P.24 を確認してください。
- 写真の位置情報だけを取得する場合は P.26 を確認してください。

本体のご使用について

お出かけ前の確認

充電式電池をご使用の場合は、十分に充電されているかを、お出かけ前にご確認ください。また、長時間ご使用の場合には予備の電池をお持ちになることをおすすめします。

※アルカリ乾電池は充電器で充電できません。

電池を交換するとき

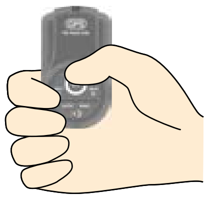
必ず電源を OFF にしてから電池交換をしてください。測位中は、電池や microSD カードを取り外したり、交換しないでください。記録データが失われる可能性があります。

また、不要な電池の消費を防ぐため、本体を長時間使用しない時は電池を抜いておいてください。

測位中の注意

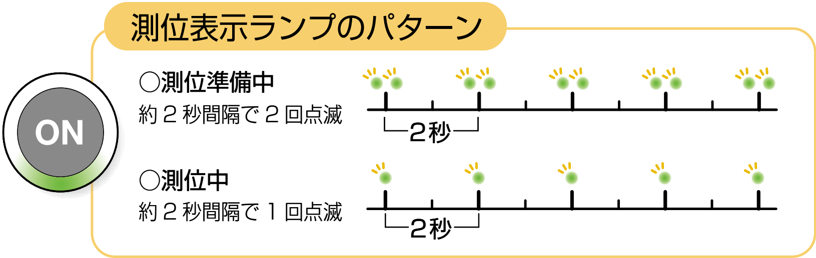
・microSD カードを交換しないでください。測位ができなくなります。

・アンテナ部分を覆わないでください。本体を持つときは、図のとおり持ってください。



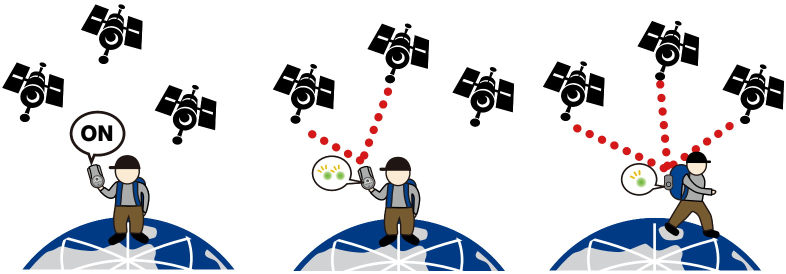
測位の確認方法

本体の測位の状態は、ランプの点滅パターンで確認することができます。



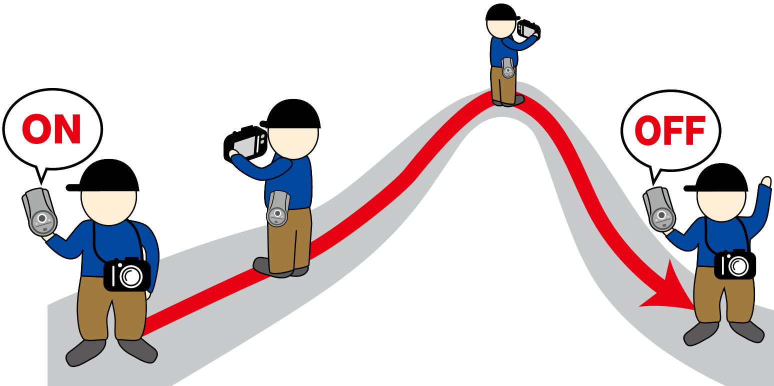
なかなか測位できないとき

測位するまで本体を動かさないでください。GPS 衛星の位置が常に移動しているため、電源を ON にしてから測位開始までに時間がかかる場合があります。また、できるだけ周りに高い建物などのない上空の開けた場所で、本体を上に向けて測位を開始するようにしてください。



経路と写真の位置情報を同時に取得する

電源を ON にしてから OFF にするまでの間、経路を記録します。



1. 本体のモードを [AUTO] に切り換える

電源を入れる前に切り換えスイッチが [AUTO] になっていることを確認してください。

※ [MAN] にすると経路が自動記録されません。使用中、手などに当たって予期せずに切り換わることがあるので、ときどき確認してください。



2. 出発地点で [ON] ボタンを長押しする

本体の電源を入れます。しばらく本体を動かさずに、測位表示ランプがゆっくり（約 2 秒に 1 回）点滅することを確認してから出発してください。

※ 本体は 10 秒毎に測位します。現在の測位状態は、測位ランプの点滅パターンで確認できます。

3. 写真を撮影する

お手持ちのデジタルカメラを使って、お好みの場所で写真を撮影します。

4. 到着地点で [ON] ボタンを長押しする

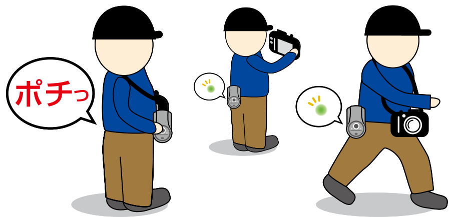
➡ ランプが消灯し、本体の電源が切れます。出発地点から到着地点までの経路が本体に記録されます。



本体を使った手順は以上で終了です。次に写真をパソコンに取り込む作業を行ってください。≫ P.28

写真の位置情報だけを取得する

経路は記録しないで、写真撮影時だけ位置情報を記録します。



※写真を取るときに、電源ボタンを押すことを忘れないでください。

1. 本体のモードを [MAN] に切り換える



測位中に [AUTO] から [MAN] に切り換えた場合

[AUTO] モードで測位中に、[MAN] モードに切り換えると、それまでの記録データはメモリに保存されます。その後、位置情報を記録したい場所で、[ON] ボタンを押して、測位します。

2. 写真を撮影する場所で [ON] ボタンを長押しする

本体の電源を入れます。しばらく本体を動かさずに、測位表示ランプがゆっくり（約 2 秒に 1 回）点滅することを確認してから出発してください。

※本体は 10 秒毎に測位します。現在の測位状態は、測位ランプの点滅パターンで確認できます。

3. もう一度 [ON] ボタンを押す

➡ 位置情報が測位され、メモリに保存されます。

4. 写真を撮影する

※以降、写真撮影時は [ON] ボタンを押してから撮影してください。その間、ランプは点滅したままです。

5. [ON] ボタンを長押しする

ランプが消灯し、本体の電源が切れます。位置情報の記録が終了します。

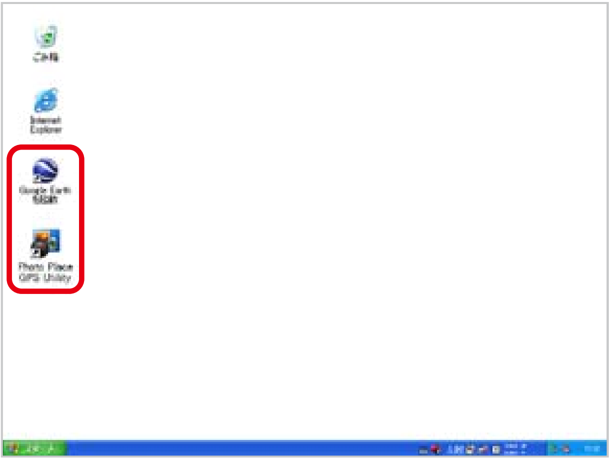


本体を使った手順は以上で終了です。次に写真をパソコンに取り込む作業を行ってください。≫ P.28

位置情報をパソコンで利用する

パソコン操作の前に

経路を地図で確認するには、Google Earth（グーグルアース）という地図ソフトをパソコンにインストールしておく必要があります。



Google Earth 地図サービスは、下記のウェブページからダウンロードできます。

http://earth.google.com/

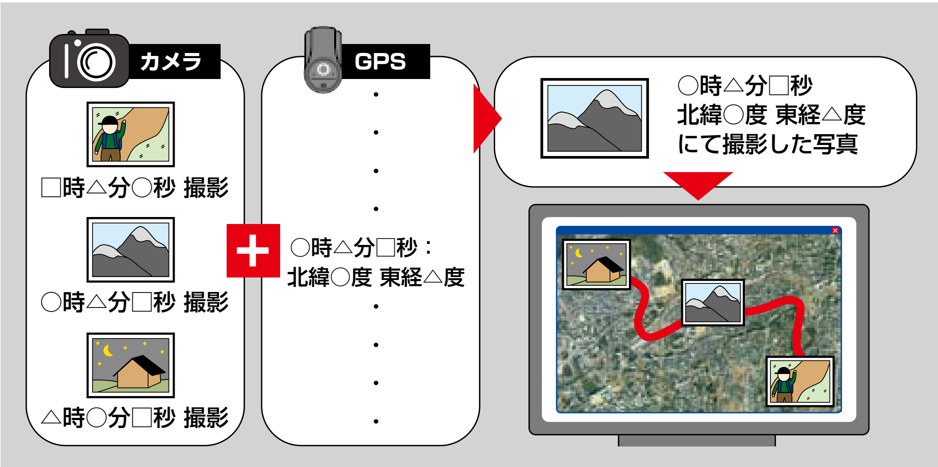
※ 上記アプリケーションの使用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

写真に位置情報を付加する

本体で測位しながらデジタルカメラで撮影した写真に、位置情報を付加することができます。

本体で取得した位置情報（ログファイル）の日時と画像データの日時を照合（マッチング）して、画像データに位置情報を追加し、経路と写真を地図上で確認できます。

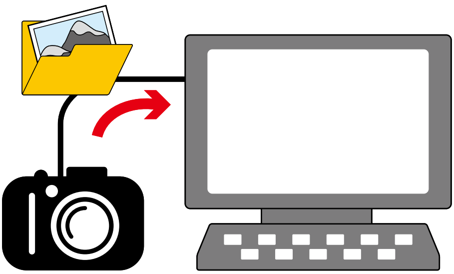
※アプリケーションの使用には、インターネットへ接続できるパソコンが必要です。



1. カメラで撮影した写真をパソコンに保存する

パソコンへの保存方法については、お手持ちのカメラの取扱説明書等をご参照ください。

※カメラに保存されている写真は、最初に写真をパソコンに保存してください。直接位置情報を付加すると、カメラ上で写真を見ることができなくなる場合があります。



次ページへ

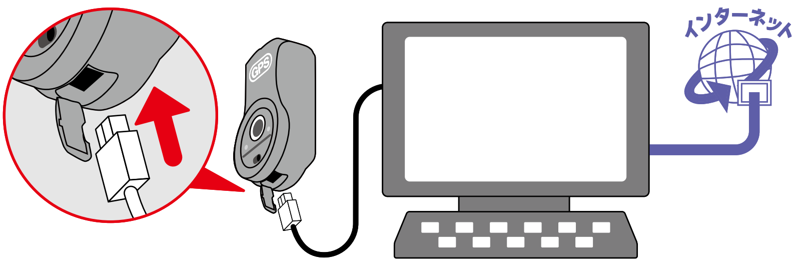
2. 本体とパソコンを接続する

パソコンを接続する前に以下を確認してから、付属の USB ケーブルを用いて、本体とパソコンを接続してください。

- 本体に microSD カードが挿入されている
- すべてのランプが消灯している

➡ 本体のメモリ残量ランプ（オレンジ）が点滅します。

※パソコンが省電力モードの時は、本体のすべてのランプが消灯します。



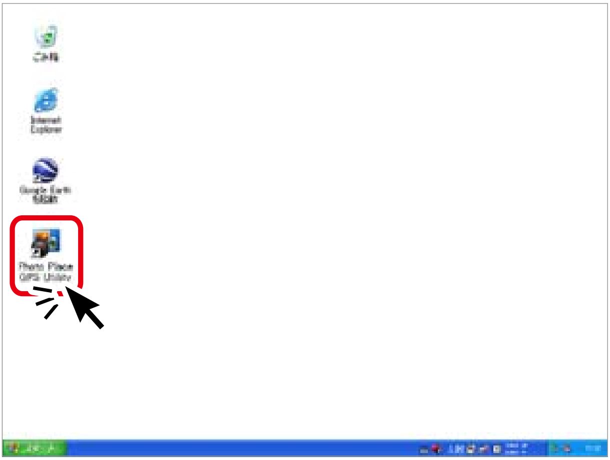
本体とパソコンの接続中は

本体から microSD カードを抜かないでください。記録データの損失や破損の原因になります。

3. Photo Place GPS Utility を起動する

以下のどちらかで起動してください。

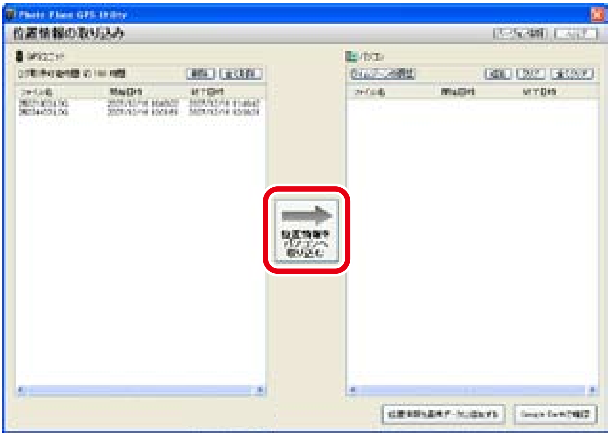
- デスクトップ上の Photo Place GPS Utility のショートカット
- [スタート] → [すべてのプログラム] → [PIXELA] → [Photo Place GPS] → [Photo Place GPS Utility]



➡ [位置情報の取り込み] 画面が表示されます。

次ページへ

4. [位置情報をパソコンへ取り込む] を選択する

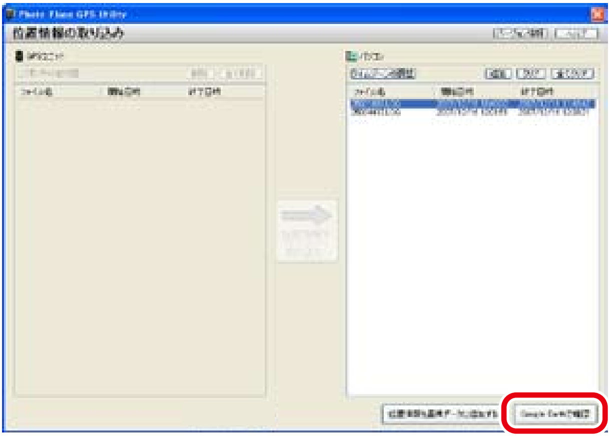


ログファイルが画面右側（[パソコン] 情報）に表示され、「GPS ユニット内のログファイルを削除しますか」というダイアログが表示されます。

本体に記録されているログファイルを削除する場合は「はい」を、削除しない場合は「いいえ」を選択してください。

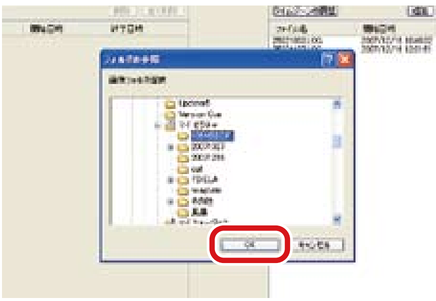
5. ログファイルを選択する

※ 複数のログファイルを一つの経路として表示させたい場合は、キーボードの [ctrl] キーを押しながら、該当のログファイルを選択します。



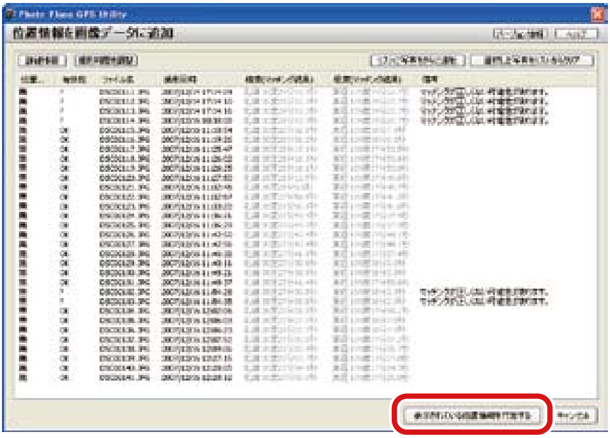
6. 写真を保存したフォルダを選択する

写真の保存先を選択します。



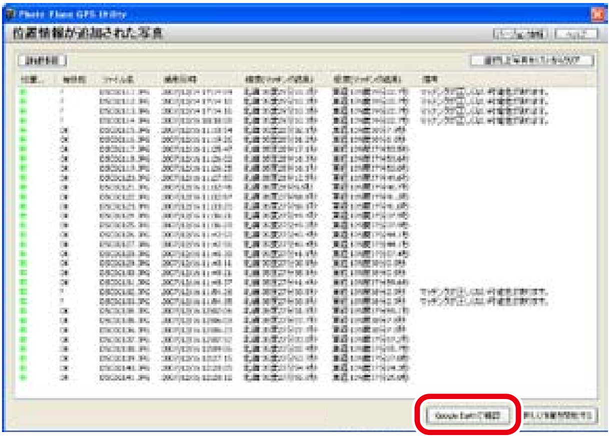
次ページへ

7. [表示されている位置情報を付加する] を選択する

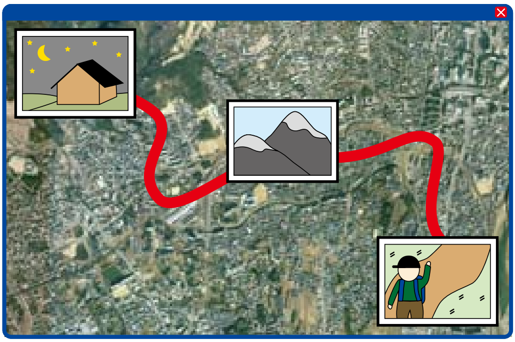


➡ 一覧に表示されている画像データに位置情報が付加されます。

8. [Google Earth で確認] ボタンを選択する



➡ Google Earth 地図サービスの地図上に、写真が表示されます。



測位条件によっては、実際の経路と誤差がある場合があります。

本体とパソコンの接続を解除する

本体をパソコンから取り外す場合は、下記の手順で接続を解除します。

1. アイコンを右クリックする

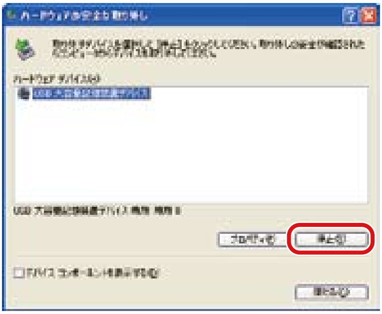
タスクトレイのハードウェアアイコンを右クリックします。



2. 「ハードウェアの安全な取り外し」を選択する



3. 「USB大容量記憶デバイス」をクリックし、[停止] を選択する

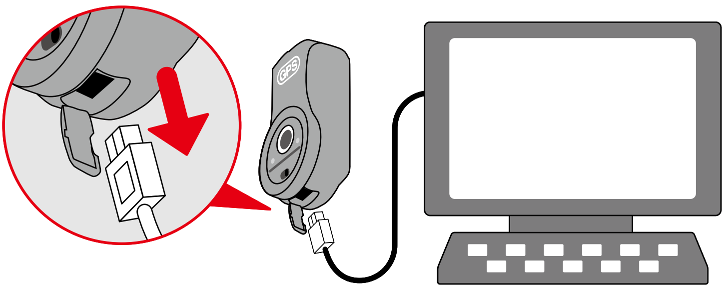


メッセージに従って進めると「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されます。



4. USB ケーブルをパソコンから抜きます。

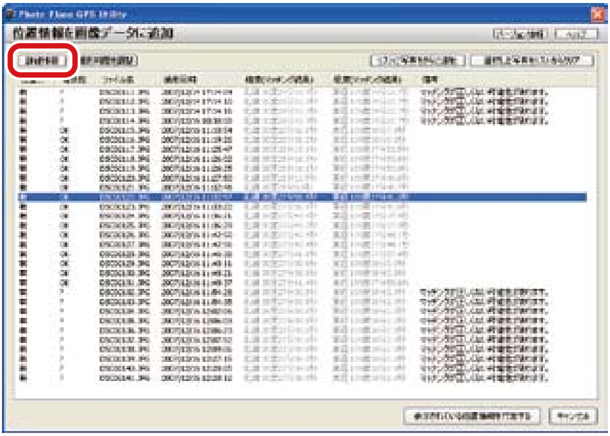
本体のすべてのランプが消灯します。



写真の詳細を確認する

位置情報を付加する前でも後でも、画像データの詳細情報を確認できます。

1. 該当する画像データを選択します。



2. [詳細情報] ボタンをクリックします。

写真の詳細情報が表示されます。



表示される項目	
ファイル名	画像データのファイル名
フォルダパス	画像データの保存先
参照ログファイル名	位置情報のデータとして使用しているログファイル名
撮影日時	写真の撮影日時
サムネイル	写真のサムネイル
GPS 情報	GPS タグバージョン / 緯度 / 経度 /GPS 時間 (UTC)/GPS 受信機の状態 / 測地系

操作画面について

「位置情報の取り込み」画面

「Photo Place GPS Utility」をデスクトップから起動すると、以下の画面が表示されます。

経路をパソコンに保存したり、地図上で経路の確認ができます。

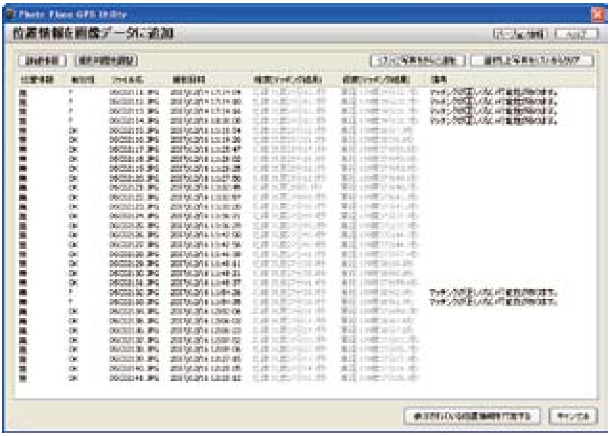


[GPSユニット]（本体）情報	本体に保存されている測位情報（ログファイル）が表示されます。
[削除]	選択した測位情報（ログファイル）を本体から削除します。
[全て削除]	[GPSユニット] 情報に表示されている測位情報（ログファイル）すべてを削除します。

[位置情報をパソコンへ取り込む]	[GPSユニット] 情報に表示されているすべての測位情報（ログファイル）をパソコンへ取り込みます。
[バージョン情報]	お使いの「Photo Place GPS Utility」のバージョン情報を表示します。
[ヘルプ]	本製品の取扱説明書(本書)を表示します。
[パソコン] 情報	パソコンに取り込まれた測位情報（ログファイル）が表示されます。
[タイムゾーンの調整]	日本標準時間以外の場所で測位した場合に、タイムゾーンを変更できます。
[追加]	パソコンに取り込み済みの測位情報（ログファイル）をリストに追加します。
[クリア]	表示されている測位情報（ログファイル）の内、選択したファイルをリストから削除します。
[全てクリア]	[パソコン] 情報に表示されている測位情報（ログファイル）すべてをリストから削除します。
[位置情報を画像データに追加する]	[パソコン] 情報に表示されている測位情報（ログファイル）を元に、画像データに位置情報を追加します。
[Google Earth で確認]	[パソコン] 情報に表示されている測位情報（ログファイル）から、選択したログファイルを、地図上に経路として表示させます。

「位置情報を画像データに追加」画面

[位置情報を画像データに追加する] ボタンをクリックし、該当写真のフォルダを選択すると以下の画面が表示されます。

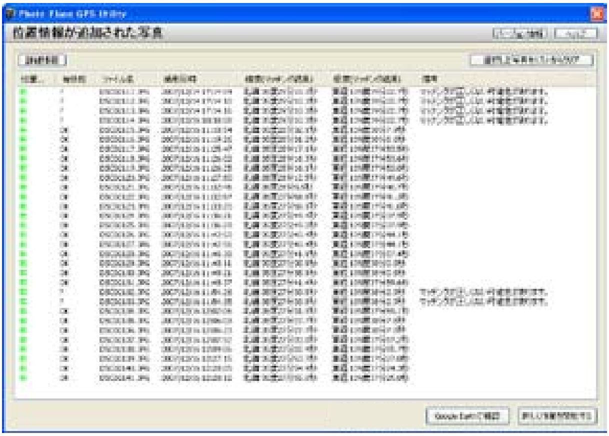


[詳細情報]	選択した画像データの詳細を別ウィンドウで表示します。
[撮影時間を調整]	マッチング結果に問題がある場合など、画像データの撮影時間を変更することができます。 ※ 画像データ自体の撮影時間が変更されますのでご注意ください。
[リストに写真をさらに追加]	リストに表示されている画像データ以外で、パソコンに保存されている写真を追加できます。

<table>
<tr><td>[選択した写真をリストからクリア]</td><td colspan="2">リストに不要な画像データが含まれている場合、リストから削除できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">画像データ情報</td><td colspan="2">写真の画像データ情報と、ログファイルとのマッチング結果が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※表示される項目</td></tr>
<tr><td>位置情報</td><td>元々位置情報がある場合は「有」、位置情報がない場合は「無」と表示されます。</td></tr>
<tr><td>有効性</td><td>ログファイルとのマッチング結果に疑問がある場合は、「?」、問題のない場合は「OK」と表示されます。</td></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td>画像データのファイル名が表示されます。</td></tr>
<tr><td>撮影日時</td><td>写真の撮影日時が表示されます。</td></tr>
<tr><td>緯度・経度</td><td>ログファイルとの仮マッチング結果が表示されます。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td>マッチング結果に疑問がある場合、メッセージが表示されます。</td></tr>
<tr><td>[表示されている位置情報を付加する]</td><td colspan="2">表示されている緯度・経度のマッチング結果を確定し、画像データに付加します。</td></tr>
<tr><td>[キャンセル]</td><td colspan="2">「位置情報の取り込み」画面に戻ります。</td></tr>
</table>

「位置情報が追加された写真」画面

位置情報を付加した後は、以下の画面が表示されます。



[Google Earth で確認]	画像データと経路を Google Earth 地図サービスで表示します。
[新しく作業を開始する]	「位置情報の取り込み」画面に戻ります。

仕様

ハードウェア仕様

GPS 本体型番	PIX-PG012-PUW	
サイズ (高さ x 幅 x 最薄部)	約 72.0mm X 42.0mm X 26.1mm （突起部除く）	
質量	約 34 g (microSD カード含む、乾電池除く）	
測位時間 （オープンスカイ）	Hot Start 約 5 秒　Cold Start 約 40 秒	
衛星チャンネル数	20 チャンネル	
位置精度	約 10 m（オープンスカイの場合）	
	動作時	約 0 ～ 40℃
	非動作時（保存時）	約 -10 ～ 50℃
湿度	約２０～８０% RH（結露なきこと）	
記録間隔	連続動作時	約 10 秒
電源	単４アルカリ乾電池　２本 （パソコンとの接続時は USB バスパワーから供給）	
電池での駆動時間	約 16 時間（25℃で使用時）※1	
対応メモリー	microSD カード※2	１ＧＢ
インターフェース	USB　2.0　フルスピード（mini B）	

※1 電池での駆動時間について

使用状況や使用環境により、駆動時間は記載の時間と異なる場合があります。

※2 microSD カードについて

- 本製品は SDA 規格に適合した最大 1 G B までの microSD（SD ver.1.1）に対応しています。microSDHC カードは対応していません。
- 本製品は著作権保護機能には対応していません。
- microSD カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

本体とパソコン接続時のご注意

- アプリケーション仕様に記載の対応 OS を搭載するすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
- 本製品を USB ハブを通してパソコンに接続する場合は、動作保証対象外となります。
- パソコンに複数台の USB 機器を接続している場合は、本製品が正常に動作しない場合があります。
- パソコンが省電力機能から復帰した場合に、本製品が正常に認識されない場合があります。その場合は、本製品を接続しなおすか、パソコンを再起動してください。

アプリケーション仕様

製品名	Photo Place GPS Utility
対応 OS	下記の日本語 32bit 版 OS を搭載したパソコン： Windows XP Home Edition Service Pack 2 Windows XP Professional Service Pack 2 Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate ※上記の OS で、Google Earth 地図サービスが動作するパソコン環境が必要です。
その他	・対応画像データ形式 Exif 2.1 以降の JPEG ファイル

Google Earthの動作環境については、下記のウェブページで確認できます。

http://earth.google.com/

困ったときは

Q & A

電池が切れてしまいました。どのような電池を購入すればいいですか？

単４アルカリ電池を２本用意してください。

使用中に電池が切れないか心配です。

電池の残量が30%以下になると、電池残量ランプ(「BATT」と書かれた部分)が赤く点滅します。時々確認して、赤く点滅していたら予備の電池と交換することをおすすめします。

説明書に「ストラップを取り付ける」とありますが、必ず取り付けないといけませんか？

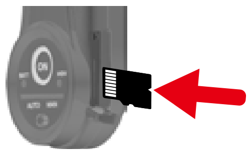
必ず取り付ける必要はありませんが、落して壊れてしまったり、紛失しないようストラップの取り付けをおすすめします。

microSD カードをなくしてしまいました。どのような microSD カードを購入すればいいですか？

SanDisk 製の microSDカードをおすすめします。なお、SDHC 規格のカードはご使用できません。

microSD カードを新しいものと交換したい。

以下の手順で交換してください。



1. 本体のランプが消灯していることを確認して、電池を取り出す
2. 右側面のゴムカバーを開き、挿入されている microSD カードを指で一度押し込む
3. microSD カードを指で引き出す
4. 新しい microSD カードをカチッと音がするまで差し込み、ゴムカバーを閉じる
5. 電池を入れ、電池カバーをスライドさせて閉じる

家族で Photo Place GPS を複数台購入しましたが、１台のパソコンで使えますか？

はい、使えます。

不要なログファイルを本体から削除したい。

「位置情報の取り込み」画面の [GPSユニット]（左側）の項目に不要なログファイルが表示されている場合は、そのログファイルを選択して [削除] ボタンをクリックします。本体のログファイルが削除されます。

特定の歩行経路の記録 (ログファイル) のみを地図に表示させたい。

「位置情報の取り込み」画面の [パソコン]（右側）の項目に不要なログファイルが表示されている場合は、そのログファイルを選択して [クリア] ボタンをクリックします。その後、[Google Earth で確認] ボタンをクリックします。

※ログファイルはリストから削除されますが、データはパソコンに保存されていますので、必要なときにリストに追加することができます。

すでに位置情報が付加されている画像データに、別の位置情報を付加したい。

誤って別のログファイルから位置情報を付加してしまった場合などでも、正しいログファイルを「位置情報の取り込み」画面で選択することで、写真データに位置情報を付加しなおすことができます。その際、既存の位置情報は上書きされます。

次ページへ

[ON] ボタンだけで [OFF] ボタンが見つかりません。

[ON] ボタンは、電源の入／切を兼ねています。

[ON] ボタンを押しても電源が入らない。

[ON] ボタンを長く押し続けると電源が入ります。ランプがつくまで押し続けてください。

[ON] ボタンを押しても電源が切れません。

[ON] ボタンを長く押し続けると電源が切れます。ランプが消えるまで押し続けてください。

まったく使っていないのに電池が切れました。

使わない状態でも、長時間放置していると電池は消耗してしまいます。長期間使わないときは、電池を取り出しておいてください。

付属ソフトウェアのインストールができない。

付属ソフトウェアが対応していないパソコンをお使いの可能性があります。本書の「アプリケーション仕様」（P. 50）に記載の動作環境をご確認ください。

本体をパソコンに接続してもログファイルが表示されない。

本体がパソコンに認識されていない可能性があります。接続しなおしてみてください。本体がパソコンに認識されているにもかかわらず、ログファイルが表示されない場合は、何らかの理由で位置情報を取得できなかった可能性があります。

本体の [ON] ボタンを押した後、いつまでたっても 2 回点滅を繰り返して 1 回点滅にならない。

受信状態の良くない場所では、1 回点滅（測位中）にならない場合があります。できるだけ建物などの障害物の無い、見通しのいい場所で測位を始めてください。また、ストラップ取付側の部分を手で覆わないようにして持つ方が測位しやすくなります。

Photo Place GPS 用語集

用語	説明	参照ページ
Google Earth（グーグルアース）	Google Inc. が提供する無料の地図サービスです。インターネットを通じてパソコンにダウンロードして使用します。	P. 28
GPS（ジーピーエス）	“Global Positioning System” の省略形です。衛星を使用した位置決定システムのことです。	P. 12
microSD（マイクロエスディー）	データを保存するメモリカードのタイプです。	P. 17
測位	衛星からの電波を受信し、位置を計測することを意味します。	―
マッチング	本書では本体の測位データと写真データの日時情報を照合することを意味します。	P. 30
リセット	リセットスイッチは本体右側面にあります。microSD メモリーカードの内容を削除できます。	P. 17
ログファイル	本体で保存した位置情報のデータを指します。	P.30